

事務事業名 健康づくり人材育成事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：1767

施策：	16	健康づくりの推進	財務コード	01040102-13-293
基本事業：	04	健康を支える環境の整備	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	健康づくりサポーターの年間活動回数 救急医療で対応している科目数		担当課	健康推進課
			担当係	健康推進担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成01年度 ~	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
市民		「筑紫野市健康づくりサポーターに関する規則」に基づき、健康づくりサポーターの養成・育成を実施している。 養成講習会：健康づくり運動サポーターは毎年開催、食生活改善推進員は隔年開催（R6は開催なし）。修了者に交付するサポーター証の有効期間は2年間とする。 更新講習会：更新希望者は受講を必須とし、毎年開催。				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		食生活改善推進員更新講習会（R6：参加者延322人、全6回） 健康づくり運動サポーター養成講習会（R6：参加者18人、修了者15人） 健康づくり運動サポーター更新講習会...4月までは感染予防のため分散し実施したが5月より全体での講習を実施（R6：参加者延466人、参加費無料、全6回）				
・市民主体の健康づくりが活発化するための人材として健康づくりサポーターを養成する。 ・養成講習会受講後の健康づくりサポーターに対して、講習会を実施し、健康づくりサポーターの資質の向上を図る。						

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	05年度実績	06年度実績	07年度当初	08年度要求	09年度計画	10年度計画	目標
食生活改善推進委員が関わる事業の延参加者数	人	1,114	1,477	1,500	1,500			1,000
健康づくり運動サポーターが関わる事業の延参加者数	人	10,542	10,725	10,750	10,750			10,680

5. コスト								
事業費	計	千円	300	259	505	407		
	国	千円			0	0		
	県	千円			0	0		
	地方債	千円			0	0		
	その他	千円	94	89	205	150		
	一般	千円	206	170	300	257		
正職員人工数	人工	0.5	0.5	0.5	0.5			
正職員人件費	千円	3,908	4,012	4,191				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	4,208	4,271	4,696	407			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）	
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	<状況> 健康づくりサポーターが関わる事業の延参加者数は増加傾向にある。 <要因> 地域の自治会主催の事業やサロン等からの派遣要望が多い。 <課題> 健康づくりサポーターの年齢構成は70代以上の方が約半数を占めていること。 養成講座の申込者が減少していること。

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）				
対象動向	維持	類似事業	なし	・健康づくりサポーターが周知されてきたことから、事業等への協力要請が増えており、地域からの要請に対応できるよう活動のできるサポーターを確保する必要がある。 ・健康づくりサポーター養成及び更新講習会を安定し実施できるよう見直しが必要である。
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし	
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし	
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり	
成果向上余地	中程度			

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）	改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	-------	----	-----	----	------

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）	
・令和6年度に筑紫野市健康づくりサポーターに関する規則の一部改正を行い養成講習会のカリキュラムをより受講しやすくなる内容に変更した。 ・食材費の高騰に伴い令和7年度より食生活改善推進員更新講習会の食料量費を増額した。	・養成講習会の参加者の確保に苦慮しており、地域から人材を紹介してもらつなどの連携を図っていく必要がある。 ・今後も養成講習会の参加者の減少や会員の退会の増加は60歳以上の就労者の増加や高齢化により進行していくと思われ、地域における持続可能な活動体制を検討していく必要がある。

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）	備考・特記事項 or 進行管理欄
・平成9年度より食生活改善推進員の養成講習会を開始。 ・平成18年度より健康づくり運動サポーターの養成を開始、健康づくりサポーターとして、食生活改善推進員と健康づくり運動サポーターを位置づける。 ・H26年度から更新講習会の実費のみ徴収に変更した。	・令和6年度より第3次健康ちくしの21において市民を支える基盤づくりとして、地域で活躍する市民ボランティアの養成講座の質の向上や、地域で活動しやすい環境整備を目指す。 ・令和7年度ヒアリング時に成果指標を変更。